

SBS 23 階から見た景色

東京スカイツリーがオープンして早1か月。連日大賑わいのようですね。地上 350 メートルと 450 メートルにある展望台から見る東京はどのような景色なのでしょう？高いところから見る大パノラマはきっと素晴らしいものなのでしょうね。スカイツリーには及ばないまでも、世田谷区にも高い建物があります。三軒茶屋のキャロットタワーと用賀の SBS タワーです。今回は SBS タワー 23階にショールームを開設している建築会社「東京組」さんにお邪魔して、地上90メートルから見た景色をお届けします。

やっぱり気になる、この時期 富士山・スカイツリーは見えるのか?!



SBS(世田谷ビジネススクエア)
22・23階に東京組さんがある



お分りいただけるでしょうか？遠く薄っすらとまだ雪の残る富士山が見て取れます。この季節なかなか富士山を拝むことが難しい時期ですがラッキーでした。山開きは7月1日です。



キャロットタワーの後ろに東京スカイツリーが見えました。やはり高い！でかい！先日、南武線の稲城長沼あたりからも窓から見えました。高尾山からも見えるそうです。電波届かすぜえ(杉ちゃん)



SBSのテラス棟
上から見ると面白い



SBSの空調室外機



高島屋と国道 246 号。



中央に東京タワーが見えます。高いビルが建たなければまだまだ十分役割を果たせたと思うのですが・・・周りをこれだけ多くの高層ビルに囲まれては電波を届かせることは無理なのでしょうね。今でも街を歩いていて家屋の屋根にあるアンテナを見ると、あのアンテナの向いている先に東京タワーがあるんだなと思い、ちょっと微笑ましい気持ちになります。



高いビルに上ったときの醍醐味はやはり上の写真のような景色を見た時だと思います。眼下に広がるおもちゃのように見える街並み、その先に見える都心のビル群。中央上の出っ張りは新宿です。



武蔵小杉周辺



その出っ張りを拡大すると都庁周辺の高層ビル群がはっきりとわかります。しかし、昔は京王プラザだけだったのにいつの間にこんなにビルが建ったのでしょうか？これからどうなるのでしょうか？

* いろはに刀サッチ#35「て」*

～亭主の好きな赤烏帽子～

「て」は、江戸では「亭主の好きな赤烏帽子」。これは、主人が好きなものなら、たとえそれが風変わりなものであっても、家族は調子を合わせて従わねばならないというたとえ。現代ではいかがでしょうか？亭主に合わせていますか？

京は「寺から里へ」。これは、檀家から寺へ物を贈るのがあたりまえなのに、寺から檀家へ物を贈る意から、物事が逆であることのとえ。大阪は「天道人を殺さず」。これは、天は慈悲深くて、人を見離すことはない、という意味。有難いですね。





二子玉川ライズです。いつもは見上げるマンション群が同じ目線で見ることができます。ということは、ライズの高層階にお住いの方は毎日今回掲載した写真のような景色を見ているのですね。ライズ左手のビル群は横浜方面です。



この広大な緑は砵公園です。さすがに広い！春の桜のシーズンだと全面桜色になるのでしょうか？その頃またお邪魔してみたいと思います。桜吹雪が舞うのが見れるかも？奥に見えるのは東名高速からもドーンと見える国立成育医療センターです。



横浜方面のビル群の中で抜き出て高いのが桜木町のランドマークタワー。昔、ランドマークに登ったとき逆に玉川方面を見たことがありますが、不覚にもSBSを発見することはできませんでした。



新しくなった京西小学校です。屋上にソーラーパネルが設置されているのがわかります。高層ビルからの眺めの楽しみのひとつに地上からは解らない思いがけないものを発見できることだと思います。



用賀駅から地上に出たところです。左の写真にはASA用賀も見えます。意外なのは、もちろんあることは知っていましたが、真福寺さんのお墓が意外と駅の近くなんだなあということ。普段渡っている駅前の交差点も上から見るとまたひと味変わって見えます。



東京組さんのご紹介

「住まいの天空ギャラリー」と名づけられた東京組さんのショールーム。まさにその名の通りの空間です。絶景を見ながらの打ち合わせは世界観が変わるのでは、世界から集めたマテリアルに触れることもできます。何故かバーコーナーもあったりして東京組さんのセンスの良さが伺えます。見学は自由とのこと。皆さんも一度地上90mの世界を体験してみても？



それ行け！！ アサッチ

